

ブエナビスタ、レッドディザイアで鉄板となるかどうか？

やっと、5月らしい、初夏の快晴の週末がやってきた。そして、ブエナビスタ、レッドディザイアという世界でも通用する牝馬2強の対決。明日のヴィクトリアマイルは、見るだけでも楽しいレースになるだろう。緑が揺れ、風光る東京コースで、この2頭はどんなレースをするだろうか？

桜舞う桜花賞、梅雨のなかの宝塚記念、菊薫る菊花賞、秋晴れのジャパンカップ、寒風吹きすさぶ有馬記念……日本の競馬は、季節の移り変わりのなかで楽しむものだ。若いときはレースや馬券に熱中して、季節を楽しむ余裕などなかったが、いまはレースよりもむしろ季節感を楽しむようになった。

といっても、グローバルで人や馬も移動するこの時代、季節は移り変わるものではなくなった。冬の日本が嫌なら、真夏のオーストラリア、ブラジル、一年中夏のハワイや東南アジアのリゾートがある。夏にスキーや雪景色を楽しみたければ、カナダでもアラスカにでも出かければいい。この21世紀、季節は選べるものになってしまった。

人間がそうなら馬もそうだ。ブエナビスタ、レッドディザイアは、ついこの間、熱帯夜のドバイで走った。だから、日本に戻ってきて初夏の風に吹かれれば、日本にずっといた馬たちより、ずっと爽快に感じるはずだ。

なのに、「ドバイから帰国初戦の2強にスキあり！」という予想が多い。馬券しか興味のないファンには、2強決着ではつまらないので、死角探しに熱中するのはわかる。しかし、どう

見てもブエナビスタ、レッドディザイアは強い。この後に宝塚記念に共に出走するというが、梅雨の雨にたたられなければ、そこでも好勝負は間違いないだろう。



昨年の有馬記念パドックでのブエナビスタ

となると、今回は、この2頭を買うか、あるいは2頭とも買わないかの2択しかない。

この欄のテーマは、いかに美しく馬券を外すかにあるので、当然、この買い方しかない。で、もっとも美しく外すとなると、やはり、この2頭を買うべきだ。3連単にして、2頭の1、2着組み合わせでアタマを固定し、3着は総流しにする。

当たってしまう可能性がもっとも高い馬券を買って外れる。そうして、競馬を予想することがいかに虚しいかを証明する。これが、私が追求してきたテーマの1つだ。さて、今回はどうなるか？

牝馬限定G1で、直線が長く力を存分に発揮できる東京の1600メートル。ここで、この2頭のどちらかでも来なかった場合、あるいは2頭とも来なかった場合、「調子落ち」「ドバイ疲れ」などとメディアは書くだろう。

2年前のヴィクトリアマイルでウオッカが2着に負けたときも「ドバイ帰りの影響」とメディアは書いた。でも、去年は圧勝

だった。はたして、結果は？

第5回 ヴィクトリアマイル (5月16日)

1	1	ベストロケーション-----		
牝5	55.0	木幡初広 鹿戸雄一		
1	2	ヒカルアマランサス-----	牝4	55.0
	内田博幸	池江泰郎		
2	3	ラドラーダ-----	牝4	
55.0	安藤勝己	藤沢和雄		
2	4	ウェディングフジコ-----	牝6	
55.0	吉田隼人	戸田博文		
3	5	アルコセニョーラ-----	牝6	
55.0	武士沢友治	畠山重則		
3	6	シセイカグヤ-----	牝4	
55.0	丸田恭介	宗像義忠		
4	7	ミクロコスモス-----	牝4	
55.0	福永祐一	角居勝彦		
4	8	ヤマニンエマイユ-----	牝7	55.0
	吉田豊	浅見秀一		
5	9	ブロードストリート-----	牝4	
55.0	藤田伸二	藤原英昭		
5	10	ニシノブルームーン-----	牝6	55.0
	北村宏司	鈴木伸尋		
6	11	ブエナビスタ -----	牝4	55.0
	横山典弘	松田博資		
6	12	ブラボーデイズ-----	牝5	55.0
	北村友一	音無秀孝		
7	13	ワンカラット-----	牝4	
55.0	藤岡佑介	藤岡健一		

7	14	コロンバスサークル-----	牝4	55.0
	蛸名正義	小島太		
7	15	アイアムカミノマゴ-----	牝4	55.0
	秋山真一郎	長浜博之		
8	16	ムードインディゴ-----	牝5	55.0
	上村洋行	友道康夫		
8	17	レッドディザイア-----	牝4	55.0
	四位洋文	松永幹夫		
8	18	プロヴィナージュ-----		牝5
55.0	佐藤哲三	小島茂之		